

立命館大学国際平和ミュージアム2001年度事業記録

I 管理・運営概要

1. 組織

●館長

安斎育郎

●企画局長

岡田英樹

●課長

友藤信明

●職員

山辺昌彦

和田真

●契約職員

斉藤里美

杉本聡美

西田洋美

吉村涼子

渡辺久栄

2. 施設

地下一階

常設展示室 751.40㎡

準備作業室 175.79㎡

収蔵庫 92.56㎡

一階

多目的ホール 327.60㎡

事務室 90.95㎡

ラウンジ 387.85㎡

二階

館長室 33.62㎡

会議室 313.57㎡

3. 企画運営委員会

第1回 2001年5月11日

第2回 2001年10月4日

第3回 2002年3月20日

企画運営委員2001年度名簿

赤沢史朗	法学部
宇野木洋	法学部
藤岡惇	経済学部
安藤哲生	経営学部
文楚雄	産業社会学部
Michel WASSERMAN	国際関係学部
白川一郎	政策科学部
富田美香	文学部
遠藤彰	理工学部
松岡正美	特任教授
井口和起	京都府立大学
吉田保	関西文理学院
広近直樹	教育研究事業部長
佐々木浩二	広報課

II 事業概要

1. 資料収集・保管

①寄贈・寄託・保管

博物館資料を、館蔵品と寄託とのそれぞれについて、物資料・文書資料・図書に分け、常設展示テーマにそった分類番号を付し、出所先ごとに整理し、収納している。

②燻蒸

2001年度は、夏期休館中の9月3日～6日に、収蔵資料を包み込み方式で、エキボンガスを注入し、24時間の燻蒸をおこなった。

2. 展示

①常設展の参観者

入館者数は次表の通りである。

年度	個人	団体	全体
2001	14702	21759	36461

②常設展の更新

国際平和ミュージアム高度化推進委員会の設置を、2001年11月1日開催の立命館大学国際平和センター評議会で決定し、第2回企画運営委員会での確認を経て、常任理事会に提案し承認をえた。そして第1回委員会は2001年11月22日に開催した。同委員会の下には、「政策検討委員会」と「リニューアル検討委員会」を設けた。第1回政策検討委員会は2001年11月22日に、第2回政策検討委員会は2002年3月4日に、第1回リニューアル検討委員会は2002年3月20日にそれぞれ開催された。以上のように検討を重ね、答申文書にまとめる努力をした。

③特別展の開催

特別展の開催状況は以下の通りである。

●手塚治虫展—世紀をつなぐ作品とメッセージ

i. 展示会、衣笠キャンパス

会期：2001年5月25日（金）～6月15日（土）

会場：立命館大学立命館大学国際平和ミュージアム
中野記念ホール

主催：立命館大学国際平和ミュージアム

後援：京都府教育委員会

京都市教育委員会

滋賀県

大津市

草津市

協力：手塚プロダクション

宝塚市立手塚治虫記念館

参観者：8274人

ii. 展示会、びわこ・くさつキャンパス

会期：2001年6月19日（火）～6月29日（金）

会場：エポックホール

主催：立命館大学国際平和ミュージアム

後援：京都府教育委員会

京都市教育委員会

滋賀県

大津市

草津市

協力：手塚プロダクション

宝塚市立手塚治虫記念館

参観者：3510人

iii. 記念講演会と鼎談

日：2001年5月25日（金）

会場：立命館大学末川記念会館ホール

講師：松谷孝征（手塚プロダクション社長）

鼎談者：松谷孝征（手塚プロダクション社長）

牧野圭一（京都精華大学教授）

安斎育郎（立命館大学国際平和ミュージアム館長）

主催：立命館大学国際平和ミュージアム

参加者：170人

iv. フォーラム、衣笠キャンパス

日：2001年6月14日（木）

会場：立命館大学国際平和ミュージアム 209会議室

司会：吉村和真（京都精華大学表現研究機構マンガ文化研究所専任研究員）

参加者：70人

v. フォーラム、びわこ・くさつキャンパス

日：2001年6月27日（水）

会場：エポック立命21 309会議室

司会：吉村和真（京都精華大学表現研究機構マンガ文化研究所専任研究員）

参加者：30人

vi. 刊行物

感想文集

*特別展関連の研究成果として、講演会や鼎談の記録、鼎談の発言を深め展開した牧野圭一氏の論文、特別展の企画・準備の成果をふまえた吉村和真氏の論文を『立命館平和研究』第3号に収録

●特別展：ラストエンペラー遺品展

i. 展示会

会期：2001年8月7日（火）～9日（木）

会場：国際平和ミュージアム 209会議室

主催：京都日中文化センター

共催：立命館大学国際平和ミュージアム

協力：偽満皇宫博物院

吉林省对外文化交流中心
日中友好協会愛知県連合会
平和のための京都の戦争展実行委員会
参観者：2700人

ii. 記念講演会
日：2001年8月8日（水）
会場：立命館大学末川記念会館ホール
演題：柳条湖事件70周年—中国から見た「満州事変」
報告者：王麗傑（偽満皇宫博物院学芸員）
参加者：120人

iii. 刊行物
図録
京都日中文化センターが作成

*「平和のための京都の戦争展」の中で開催

●特別展：世界報道写真展 2001

i. 展示会
会期：2001年9月27日（木）～10月21日（日）
会場：国際平和ミュージアム 中野記念ホール
主催：朝日新聞社
世界報道写真オランダ財団
立命館大学国際平和ミュージアム
後援：オランダ大使館
社団法人日本写真協会
社団法人日本写真家協会
協賛：キャノン株式会社
キャノン販売株式会社
イーストマン・コダック社
KLMオランダ航空
参観者：7397人

ii. 刊行物
感想文集

●特別展：ベトナム子ども絵画展

i. 展示会
会期：2001年10月26日（金）～11月15日（木）
会場：国際平和ミュージアム 中野記念ホール
主催：ホーチミン市戦争証跡博物館
立命館大学国際平和ミュージアム
同時開催：石川文洋のとらえたフォトドキュメント
参観者：3816人

ii. 記念講演会
日：2001年10月26日（金）
会場：立命館大学 創思館カンファレンスルーム
講演：グエン・クオック・フン（ホーチミン市戦争証跡博物館館長）
スライドトーク：石川文洋（写真家）
参加者：70人

iii. 刊行物
感想文集

*グエン・クオック・フン氏の講演要旨を『立命館大学国際平和ミュージアムだより』9巻3号に掲載

●特別展：平和の世紀へ 遺書・遺品展—戦没青年とともに生きる

会期：2001年12月4日（火）～12月8日（土）
会場：国際平和ミュージアム 中野記念ホール
主催：「平和の世紀へ 遺書・遺品展」実行委員会
（日本戦没学生記念会、岩手県農村文化懇談会、立命館大学国際平和ミュージアム）
後援：朝日新聞大阪本社
協力：学習院大学史料館
高知大学附属図書館
本居宣長記念館
参観者：2420人
iii. 刊行物
パンフレット
朝日新聞大阪本社制作
感想文集
朝日新聞大阪本社制作

3. 教育・普及活動

①学芸員実務実習

2001年度の学芸員実務実習は、8月8～12日と14日の日程で、立命館大学5名、京都橘女子大学4名の合計9名を受け入れ、特別展展示プランの作成、資料整理、受付業務などを中心におこなった。

実習生名と作成した展示プランは以下のとおりである。

清家剛 立命館大学文学部史学科日本史学専攻
ニューギニアの戦い
永井敬久 立命館大学文学部史学科日本史学専攻
宇垣軍縮と総力戦体制

高森民江 立命館大学文学部人文総合科学インスティテュート

満州事変に至るまで

草間基弘 立命館大学文学部科目等履修生
日本史学卒業 杏林大学大学院在学

「はだしのゲン」の原爆展

藤田明 立命館大学文学部科目等履修生
東洋史学卒業

朝鮮戦争の日本協力—勃発から休戦

作田昌子 京都橘大学文学部歴史学科世界史コース
東京裁判

高橋朝美 京都橘大学文学部歴史学科世界史コース

満州「大陸の花嫁」はどのようにつくられたか

神尾美緒 京都橘大学文学部歴史学科世界史コース
武器としての宣伝—プロパガンダで見るドイツ

金謹玉 京都橘大学文学部文化財学科埋蔵文化財
コース

日本における戦争遺跡

②研修受け入れ

2001年度も国際協力事業団の「博物館技術コース」の研修に協力した。

2001年9月14日に、「テーマ展示のあり方」というテーマのもとに見学研修を受け入れた。内容は、館長の講演と常設展、収蔵庫・作業室などの見学である。

また2001年12月12日から15日の日程で、中国の吉林大学地質宮博物館館長の咎淑芹氏を受け入れ、「大学博物館の運営」のテーマで専門研修を実施した。立命館大学国際平和ミュージアムとともに、京都大学総合博物館、花園大学歴史博物館、池坊短期大学むろまち美術館を見学し、その運営状況を学ぶとともに、日本の大学博物館の現状と課題を把握してもらうような研修をおこなった。

北海道開拓記念館の寺林伸明学芸員が、戦争と国際関係に関する歴史展示を調べる目的をもって、立命館大学国際平和ミュージアムで、2002年1月8日～3月5日の期間、研修をされた。国際平和ミュージアムでは寺林の調査目的達成のための必要な援助・協力をおこなった。

4. 交流事業

①日本平和博物館会議

第8回平和博物館会議は、大阪国際平和センターを

開催館として、2001年11月6・7日に大阪市で開催され、立命館大学国際平和ミュージアムも参加した。

②「平和のための博物館市民ネットワーク」

第1回全国交流会が、2001年11月18日に、立命館大学国際平和ミュージアムにおいて、日本平和学会秋期研究大会にあわせて開催された。そこで、事務局が平和資料館・草の家から、立命館大学国際平和ミュージアムに交代し、ニュースは平和資料館・草の家と立命館大学国際平和ミュージアムとが共同して編集することになった。2001年度では、英語版のニュースレター“Muse”第6号を2001年12月に発行した。

5. 刊行物

①紀要

『立命館平和研究—国際平和ミュージアム紀要—』第3号を2002年3月25日に刊行した。

内容は以下の通りである。

特集 手塚治虫—世紀をつなぐ作品とメッセージ

手塚治虫を語る—「手塚治虫展」記念講演（松谷孝征）
「手塚治虫展」記念鼎談（松谷孝征・牧野圭一・安斎育郎）

マンガ作品における《上手》《下手》とは何か—臨床医の視点からマンガを読み解く（牧野圭一）

手塚治虫の「思想」—いま、語ることの意義と課題（吉村和真）

過去に誠実に向き合う—和解と共生をめざして（安斎育郎）

消し去られた文字—「満州国」における検閲の実相（岡田英樹）

学童集団疎開が人員疎開政策中に占めた位置と役割（飯田美季子）

立命館大学国際平和ミュージアムの2000年度事業記録（山辺昌彦）

②だより

『国際平和ミュージアムだより』を刊行し、事業報告、関係者の随想、推薦本・収蔵資料・入館状況の紹介などを掲載している。

2001年度の刊行状況は以下の通りである。

通巻号数	巻	号	刊行年月日
23	9	1	2001年8月24日
24	9	2	2001年12月25日
25	9	3	2002年3月25日

主な記事は以下のようなものである。

●特別展報告

号	回	特別展名
23	32	手塚治虫展—世紀をつなぐ作品とメッセージ
24	33	ラストエンペラー遺品展
24	34	世界報道写真展 2001
25	35	ベトナム子ども絵画展
25	36	平和への世紀へ 遺書遺品展—戦没青年とともに生きる

●案内など

号	題
23	常設展参観者30万人を達成
24	「平和のための博物館市民ネットワーク」の事務局が立命館大学国際平和ミュージアムに変わりました
25	『立命館平和研究—立命館大学国際平和ミュージアム紀要』第3号刊行のお知らせ

●館長あいさつ「巻頭つれづれ」

号	回	題
23	19	カリスマ信仰の果て
24	20	モンタナにて
25	21	西大門刑務所歴史館を訪ねて

●企画（運営）委員連載

号	回	題 (執筆者)
24	16	素面魂い (白川一郎)
25	17	三つのタワーの話 (安藤哲生)

●連載 リニューアルに向けて

号	回	題 (執筆者)
23	2	日本の大学博物館から考えるリニューアルへの期待 (兵藤友博)
24	3	教育研究の推進拠点として (富田美香)
25	4	国際平和ミュージアムへの期待 (寺林伸明)

●ミュージアムおすすめの一冊（執筆者は山辺昌彦）

号	回	書名
23	23	木畑洋一著『第二次世界大戦』

24	24	近藤孝弘著『歴史教育と教科書』
25	25	水野直樹ほか著『日本の植民地支配』

●スポット ミュージアムの収蔵品
(執筆者は山辺昌彦)

号	回	題
23	19	カンボジアの地雷関係資料
24	20	舞鶴市立明倫国民学校梅田学級児童画
25	21	「旅順」の戦跡案内書

●その他記事

号	題 (執筆者)
23	企画局長就任のあいさつ (岡田英樹)
23	添乗員から見た国際平和ミュージアム (橘高利治)
23	「CD-ROM岩波平和ミュージアム」を編集して (渡辺勝之)
24	痛みを感じ共に超えること—2002日韓W杯 (山下高行)
24	夏期課研修旅行報告 (西田洋美)

●これら以外に、「平和へのメッセージ」(常設展感想文など)、「ある日ある時ミュージアム」(常設展での平和友の会によるガイドの状況)、入館状況、事業予告などを掲載している。

6. 資料の特別利用

2001年度の展示会などへの主な貸出状況は次の通りである。

●戦争と家庭生活展—女性の証言から

主催：姫路市平和資料館
会場：姫路市平和資料館
会期：4.14～7.8
貸出：資料55点

●戦争と庶民の暮らし

主催：仙台市歴史民俗資料館
会場：仙台市歴史民俗資料館
会期：7.29～10.28
貸出：資料34点

●'01平和のための京都の戦争展

主催：実行委員会
会場：立命館大学国際平和ミュージアム
会期：7.31～8.9
貸出：資料64点

●原爆と人間展

主催：大山崎町
会場：役場庁舎町民ギャラリー
会期：7.31～8.20
貸出：写真パネル1組

●市民と考える平和展

主催：芦屋市
会場：芦屋市民センター
会期：8.1～15
貸出：資料53点、写真パネル2組

●'01平和のための戦争展わかやま

主催：実行委員会
会場：わかやま市民生協組合員ホール
会期：8.3～5
貸出：資料54点

●人権啓発展

主催：守山市
会場：守山市市民ホール
会期：8.4～14
貸出：写真パネル1組

●2001東大阪平和のための戦争展

主催：実行委員会

会場：東大阪市立市民会館

会期：8.5

貸出：資料18点

貸出：写真パネル 2 組

●全京都建築労働組合伏見支部戦争展

主催：全京都建築労働組合伏見支部

会場：支部事務所

会期：8.5

貸出：資料45点

●平和を考える展示

主催：白い鳩保育園

会場：白い鳩保育園

会期：11.11

貸出：写真パネル 1 組

●第 9 回佐賀市平和展

主催：佐賀市

会場：佐賀市交流センター

会期：8.9～12

貸出：写真パネル 1 組

●平和の世紀へ 遺書・遺品展—戦没学生とともに生きる

主催：実行委員会

会場：朝日新聞大阪本社アサコムホール

会期：11.26～12.1

貸出：資料25点、写真パネル 6 点

●宮津・与謝平和の集い

主催：実行委員会

会場：野田川わーくばる

会期：8.11

貸出：資料64点

●第 2 回下京平和のための戦争展

主催：実行委員会

会場：下東集会所

会期：2.6

貸出：資料20点

●平和への道しるべ展

主催：大津市

会場：明日都浜大津

会期：8.12～14

●非戦・平和展—21世紀の子どもたちへ

主催：真宗大谷派（東本願寺）

会場：真宗本廟（東本願寺）参拝接待所ギャラリー

会期：3.15～4.15

貸出：資料 1 点

（文責 山辺昌彦）